

第4回福山市地域公共交通会議 会議録（要旨）

1 日 時

2016年（平成28年）3月15日（火）14:00～15:30

2 場 所

福山市役所 6階 第3応接室

3 出席者

(1) 委員（16名）

井上矩之委員，藤井基博委員，藤本和士委員（代理 内田隆士），和田秀俊委員，藤井智恵子委員，石口智志委員（代理 原田寿和），神原昌弘委員，渡辺徹委員，平賀哲二委員（代理 櫻井康彬），堀江豊委員，木村洋委員（代理 藤田順子），友道康仁委員，後藤宏暢委員，佐藤彰三委員，渡邊清文委員，神田量三委員

(2) 事務局（4名）

神園都市交通課長，中津公共交通担当次長，上田主事，川端主事

(3) 傍聴者（0）

4 会議の成立

委員17名中，代理出席を含め16名出席で，委員の過半数が出席しているため，福山市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定により会議が成立

5 協議事項

(1) 報告事項

①乗合タクシーの利用状況について

(2) 議事

議第1号 乗合タクシーの運行計画の変更について

(3) その他

福祉タクシー車両導入に係る国の支援制度について（報告）

6 資料

- ・第4回福山市地域公共交通会議 報告事項
- ・第4回福山市地域公共交通会議 議事
- ・福祉タクシー車両導入に係る国の支援制度の活用について（報告）

7 協議内容

(1) 報告事項

①乗合タクシーの利用状況について

事務局：資料により説明。

委員：乗合タクシーはどのくらいの時間帯に運行していますか。

事務局：朝の9時ぐらいから夕方5時ぐらいまで，曜日ごとに決めたルートを運行しております。

委員長：1便当たりの利用者数が多い竹尋学区よりも，1便当たりの利用者数が少ない中条学

区のほうが、収益率が高いのはなぜですか。

事務局：一つは、中条学区は料金設定が高いということがあります。中条学区が1乗車500円に対して、竹尋学区は1乗車350円又は400円となっております。また、運行した距離が違うので、経費が違ってくることがあります。

委員長：わかりました。ほかにいかがでしょうか。他にないようですので、以上で、報告事項は終了いたします。

(2) 議事

議第1号 乗合タクシーの運行計画の変更について

事務局：資料により説明。

(質問・意見なし)

委員長：議第1号乗合タクシーの運行計画の変更について、ご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

委員長：全会一致と認めますので、乗合タクシーの運行計画の変更については、事務局提案のとおり承認することに決定いたします。

今後も、地域住民の皆さんと連携しながら、持続可能な乗合タクシー事業の運営に努めていただきたいと思います。

(3) その他

福祉タクシー車両導入に係る国の支援制度について（報告）

事務局：資料により説明。

委員：スロープ付きタクシー車両ということですが、スロープは車両のどこに付きますか。

事務局：シエンタという車両で、車両の後ろ側に付きます。

委員：これはアシナトランジット株式会社に限るものですか。

事務局：要望を出されて手を挙げられたところがアシナトランジット株式会社だったということとあります。市内には他にも福祉車両をお持ちになっている施設などもございます。

委員：今回の協議会は分科会に位置づけられるとのことですが、活性化再生法と道路運送法のどちらの協議会の分科会に位置づけられるご予定ですか。

事務局：活性化再生法の協議会の分科会に位置づける予定です。

委員：地域部会と同じような位置づけですか。

事務局：地域部会とはまた別です。

委員長：ほかにいかがですか。ないようですので、本日予定しておりました協議は終了いたします。